

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
大事業	501	地域振興事務事業			中事業	01	地域振興事務事業（丸岡）		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	■丸岡古城まつり
---------------	----------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	丸岡支所
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		地域振興課
旧総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-1	シティーセールスの強化		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		まちづくり推進課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
丸岡地区に係ることや支所が所掌する事務等について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働によるまちづくりを推進する。		
【事業の概要】		
○需用費		
修繕料	手作り鎧兜修繕料	50 千円
○委託料	手作り鎧兜制作業務委託料	1,600 千円
○補助金		5,426 千円
	丸岡まつり振興会事業補助金	363 千円
	古城まつり事業補助金	3,863 千円
	支所所管区域体育祭等事業費補助金	1,200 千円

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	7,076	9,399	9,295	△ 2,323
人件費	10,196	10,180	12,974	16
総事業費	17,272	19,579	22,269	△ 2,307
人員				
正職員	1.52 人	1.48 人	1.81 人	0.04 人
臨時職員	0.00 人	0.16 人	0.16 人	△ 0.16 人
人員計	1.52 人	1.64 人	1.97 人	△ 0.12 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	6,000	0	△ 6,000
一般財源	17,272	13,579	22,269	3,693

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標			目標		3,000	3,000	3,000	2,000
独自指標	古城まつり参加及び人数	人	実績		0	3,000	3,000	3,000
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	150.0
	指標の説明 実行委員会から当日参加者の総人数（観覧者は含まず）							
指標			目標		40	40	40	40
独自指標	古城まつり全体事業費に対する自己収入財源の割合	%	実績		0	55	50	35
			達成率(%)	0.0	0.0	137.5	124.8	87.5
	指標の説明 協力金（協賛金、地区協力金）+雑入（出店料等） / 支出総額							
指標			目標		2,000.0	2,000	2,000	1,000
独自指標	丸岡スポーツレクリエーション祭の参加人数	人	実績		2,390.0	2,589	2,413	2,418
			達成率(%)	0.0	119.5	129.5	120.7	241.8
	指標の説明 競技参加者422人、チャレンジコーナー等1,968人							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標に基づく評価	古城まつりについては、台風19号の影響によりまつり事業運営の安全面を考慮し中止しました。また、スポーツレクリエーション祭では初心者が気軽にスポーツに親しむことができるよう、実施内容を工夫することができました。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			
<p>まつりに参加する人々は増えていますが、若年層への浸透が低い状況です。国宝化を目指す古城にふさわしいイベントの在り方を踏襲しつつ、若年者層を取り込んで、協働のまちづくりを担う新しい人材の発掘や事業への参加など工夫が求められています。</p>				
成果と改善点	<p>丸岡古城まつりについては、古城まつりの運営母体である実行委員会を中心に、市民の声をまつりに反映させるよう努めました。実行委員会での審議をより深めていくために、古城まつり検討委員会において詳細に協議し、検討会メンバーが実行委員に加わることで、市民のアイデアをまつりの企画・運営に盛り込むことができました。その中で組織のスリム化と内部改革を実行し、実行委員会を中心に運営できるよう支援することができ、市民参加のすそ野が広がりました。スポーツ・ツレクレーション祭については、気軽にスポーツに親しむことができるよう実施種目など内容を工夫し、参加者増につながるよう努めました。</p>			

7.令和2年度から令和6年度（第2次総合計画期間）の方向性

計画期間の方向性	改善（見直し）	
方向性の理由	<p>超高齢化問題や若年者層の人口流出問題など、地域を取り巻く環境の変化の中で丸岡城という地域の宝を活かしながら、地域に住む人々が誇りに思い、市のイメージアップに貢献できるよう発信力の高いまつりへ見直しを図っていきます。また、若年者層を取り込んでいけるよう、事業内容の工夫を模索しながら、新しい人材の発掘を行っていきます。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	社会福祉施設費
大事業	001	社会福祉施設管理運営事業			中事業	06	丸岡総合福祉保健施設管理運営事業		
小事業							他 事業		

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	公共サービスの民営化
---------------	------------

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	丸岡支所
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		地域振興課
旧総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-4	公共施設の効率的な維持管理		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有				
根拠例規	有		坂井市丸岡総合福祉保健センター条例、同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	有				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
総合的な地域福祉の拠点である丸岡総合福祉保健施設を安全で適正かつ効果的、効率的な管理運営を行い、市民の福祉増進を図る。

【事業の概要】
◆丸岡総合福祉保健施設管理運営事業 丸岡 288,390 千円
温泉、丸岡子育て支援センター、住民健診、ディサービスなど福祉サービス機能を併設した当該施設を㈱イワタグループが指定管理者として管理運営を実施。

- 指定管理者 株式会社イワタグループ
- 指定期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日

○役務費 79 千円
火災保険料 79 千円

○委託料 60,970 千円
改修工事監理業務委託料 2,970 千円
丸岡総合福祉保健センター指定管理委託料 58,000 千円

○工事請負費 225,864 千円
建物改修工事費 220,474 千円
駐車場整備工事費 98 千円
丸岡温泉源泉ポンプ修繕工事費 5,292 千円

○負担金 台風19号による被害修繕負担金 1,476 千円

【事業の成果と改善点等】
令和元年度について、大規模改修を行い7月からの開館となったが、新規の指定管理者のもと、多種多様なサービスの提供や、新しい自主事業を行うなど、積極的な集客に努めた。

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	288,390	84,727	58,394	203,663
人件費	7,178	7,153	4,414	25
総事業費	295,568	91,880	62,808	203,688
人員				
正職員	1.07 人	1.07 人	0.63 人	0.00 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	1.07 人	1.07 人	0.63 人	0.00 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	203,800	27,900	0	175,900
一般財源	91,768	63,980	62,808	27,788

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	顧客満足度	%	目標		60	70	60	60
			実績		61	77	67	67
			達成率(%)		0.0	101.7	110.0	111.3
指標の説明								
指標	利用人数	人	目標		220,000	290,000	290,000	290,000
			実績		206,368	233,777	244,117	238,226
			達成率(%)		0.0	93.8	80.6	84.2
指標の説明								
指標	利用料収入	千円	目標		81,696	109,150	107,300	106,809
			実績		76,020	83,372	89,696	88,262
			達成率(%)		0.0	93.1	76.4	83.6
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	令和元年度より指定管理者が変更となり、施設改修後、7月からの開業となったが、フィットネスジムやスタジオも開業し、多彩な自主事業の実施やレストラン事業の充実など、顧客満足度の向上に努めつつ、適正な管理運営や、安全管理、危機管理体制も確立されている。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			<p>供用開始以来20年が経過し施設や設備の老朽化の進行が著しかったことから、施設・設備等の大規模改修を行ない7月に開業したところ、徐々に利用者も増加し、12月度、1月度は過去3年間の中で最高入場者数を記録しました。しかし、利用者の年齢層を見ると60歳から70歳以上が全体の70%を占めるなど、利用者層に偏りが見られ、若年層の利用者増が今後の課題の一つと考えられます。また、今回の大規模改修で、該当しなかった設備等についても、老朽化が進んでいるため、定期的な点検と計画的な修繕を行ない適切な管理運営を行っていく必要があります。</p>
成果と改善点	<p>今年度は大規模改修を行ったため7月からの開業となりましたが、レストランのリニューアルやフィットネスジム、スタジオの新設など行った結果、利用者も順調に増加し、12月度、1月度は過去3年間の中で最高入場者数を記録、また、食堂・物品の売上についても、目標額を大きく上回り、過去4年間で最高額となりました。しかし、その中でも高齢者層を中心とした利用者年代の偏りや、大規模改修に該当しなかった設備等の老朽化など課題となっており、今後は若者層やファミリー層が興味を示すイベント等を企画実行し、多くの新規利用者の獲得を目指すと共に、老朽化した設備についても、こまめな点検と優先順位を定め計画的な修繕を実施していくことが必要です。</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	<p>効果的、効率的な公共施設の管理運営と、利用の拡大につながるように、引き続き指定管理者の導入を実施していく。</p>	